

敦賀市出身で日本映画大2年生の山下大裕さん(20)が、川崎市在住だが、初監督となる自主映画「SNOWGIRL」を制作する。2月に東京と敦賀でロケを行い、自主映画のコンペに出品する。山下さんは「いい作品ができそう」と自信をのぞかせている。

(加藤栄吾)

山下さんは小中学校時代に2回、敦賀(ごも)ミュージカルに役者として出演。舞台の楽しさを知り、演出にも興味を持ったという。

敦賀高を経て、川崎市にある日本映画大の映画学部脚本演出コースに入学。台本を書いたり、撮影実習、映画史を学ぶなどの勉強を続けている。

もともと大好きな古里・敦賀を舞台に映画を撮りたいとの思いを持っていた山下さんは、大学の実習では物足りなから「やりたいことを一からやってみよう」と、監督として初の自主映画制作に挑むことを決めた。

「SNOWGIRL」は冬の敦賀が舞台となるヒューマンドラマ。幼いころに両親が離婚し父

# 心温まる敦賀映画に

## 市内出身 20歳山下さん(川崎)初監督

### 一冬の不思議な物語

### 来月撮影入り

と暮らす少女が、高校2年の冬に祖母の住む田舎に預けられ、自分とそっくりの少女と出会うという設定で、幻想的な銀世界で繰り広げられる一冬の不思議な物語となっている。

主演には山下さんの幼なじみで高校の同級生だった双子の姉妹俳優、縄手麻里さん、梨乃さんを起用。敦賀市の舞台俳優、人村朱美さんも友情出演する。

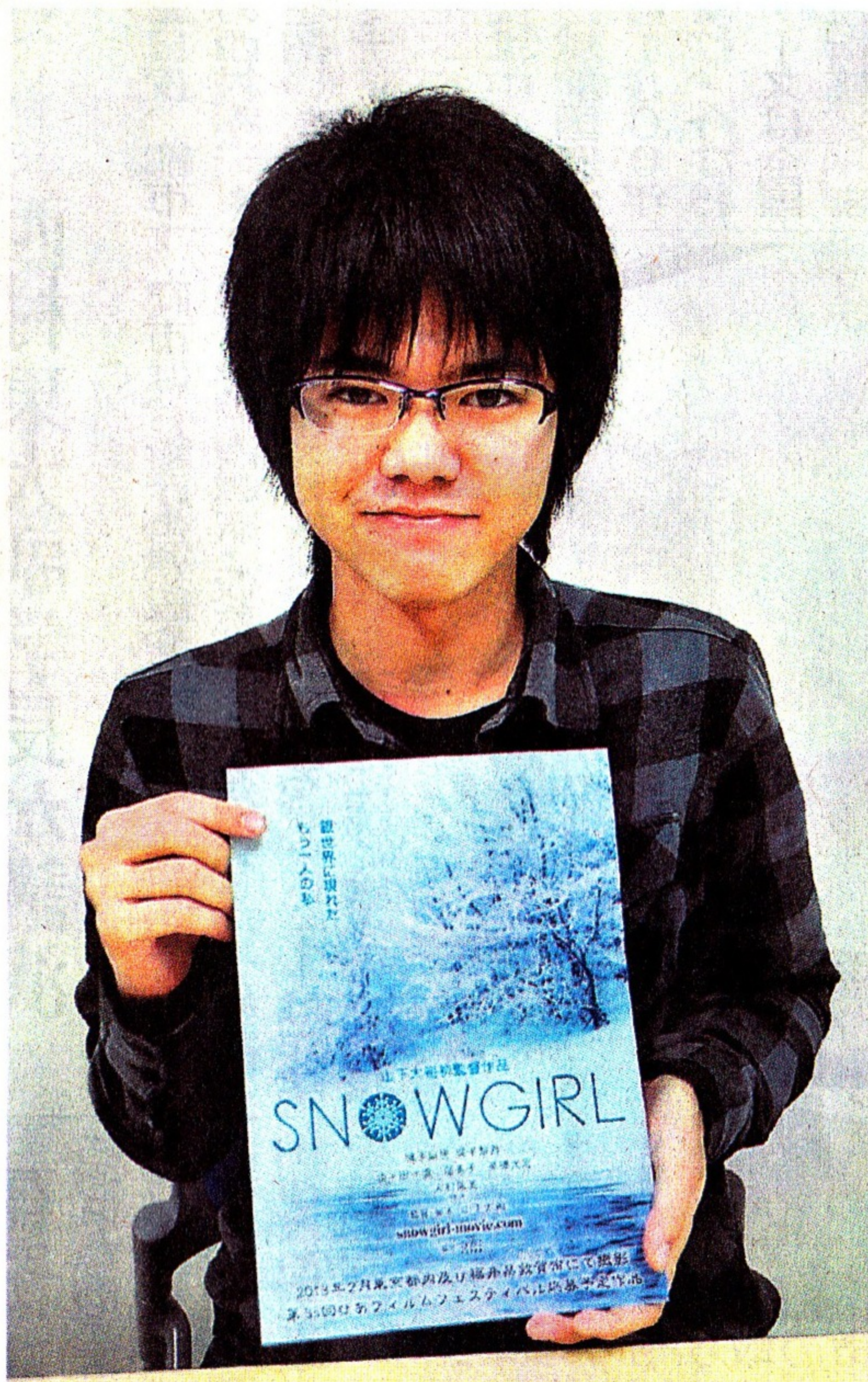
山下さんはこのほど、脚本を完成させ、2月中旬から東京都内でロケを始める。敦賀でも約1週間、気比の松原や市内の通りなどで撮影。3月に編集し、「第35回びあ

### 主演は同級生姉妹俳優 人村さんも

フィルムフェスティバル」に出品する。4月に東京、5月には敦賀でも作品の上映会を開催する予定。

初監督で気合十分という山下さんは「敦賀の良さをどう生かそうかと考えている。心が温まるような映画にしたい」と意気込む。

2020年までに全都道府県の劇場で公開される映画を撮るのが目標で「やるからには頂点に立ちたい。世界的な監督になる」と話している。今回の映画についてはホームページ(<http://snowgirl-movie.com/>)でも紹介している。



初監督となる自主映画を制作する山下さん—福井新聞敦賀支社